

3-8 相模湾におけるGPS地殻変動監視観測（平成2年4月～6年5月） GPS Observations around Sagami Bay (April, 1990—May, 1994)

海上保安庁水路部

Hydrographic Department, Maritime Safety Agency

海上保安庁では、平成2年2月から伊豆大島、真鶴、釧崎、平成4年12月から白浜においてGPSによる地殻変動監視観測を定常的に行っている。

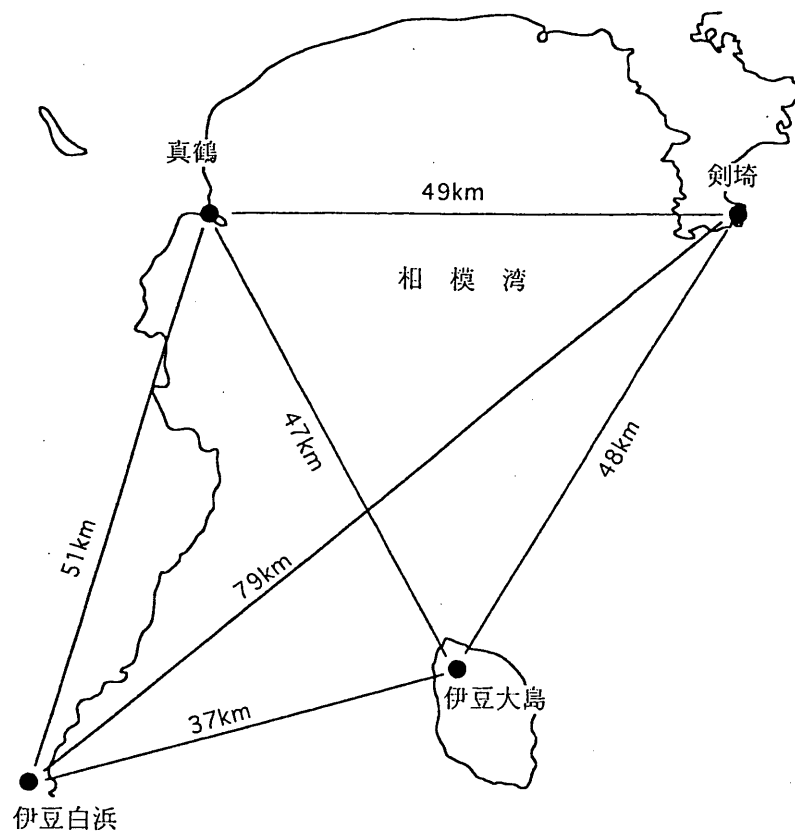
使用している機器はTrimble 4000SLD, 4000SST II P, 4000STD及び4000SSEである。観測は遠隔制御により自動的に行い、観測データは公衆電話回線を経由して海上保安庁水路部で収集している。観測は週1, 2回程度行い、観測時間はそれぞれ6時間である。解析ソフトウェアはTRIMVECを用いている。

第1図に観測点の配置図を、第2図に各観測点間6基線の基線長成分の解析結果を示した。データがない部分は、受信機の故障による欠測である。

観測点は一様に動いているものと仮定して、基線ベクトルの変化速度を最小自乗法により推定した（第1表）。なお、各基線の変化速度は独立に求めた。

参 考 文 献

- 1) 海上保安庁水路部：相模湾域におけるGPS地殻変動監視観測（平成2年2月～11月），連絡会報，**45**（1991），122—126.
- 2) 海上保安庁水路部：相模湾域におけるGPS地殻変動監視観測（平成2年4月～3年4月），連絡会報，**46**（1991），108—113.
- 3) 海上保安庁水路部：相模湾域におけるGPS地殻変動監視観測（平成2年4月～3年11月），連絡会報，**47**（1992），144—149.
- 4) 海上保安庁水路部：相模湾域におけるGPS地殻変動監視観測（平成2年4月～4年4月），連絡会報，**48**（1992），167—173.
- 5) 海上保安庁水路部：相模湾域におけるGPS地殻変動監視観測（平成2年4月～4年11月），連絡会報，**49**（1993），169—173.
- 6) 海上保安庁水路部：相模湾域におけるGPS地殻変動監視観測（平成2年4月～5年5月），連絡会報，**50**（1993），192—196.
- 7) 海上保安庁水路部：相模湾域におけるGPS地殻変動監視観測（平成2年4月～5年12月），連絡会報，**51**（1994），271—273.



第1図 観測点の配置

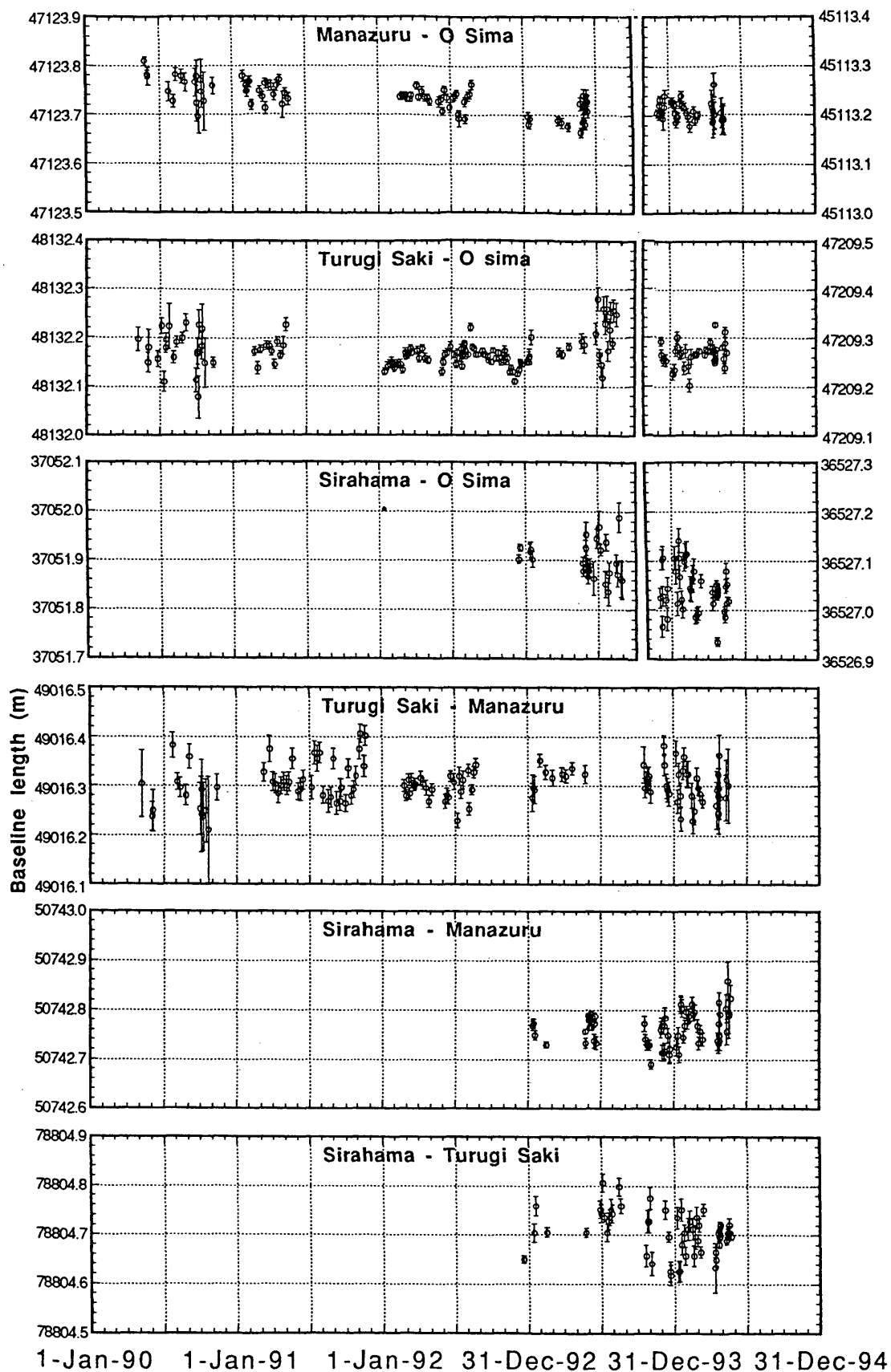
Fig.1 Location of GPS observation sites.

第1表 各観測点間の基線ベクトルの変化率

Table.1 Change rates of baseline lengths among Izu Oshima, Manazuru, Turugi Saki and Sirahama.

終 点	始 点	基線長変化率 (cm/year)
真 鶴	伊豆大島	* -1.7 ± 0.4
釧 崎	伊豆大島	* $+0.3 \pm 0.4$
白 浜	伊豆大島	* -4.6 ± 3.8
釧 崎	真 鶴	-0.3 ± 0.3
白 浜	真 鶴	-0.2 ± 0.9
白 浜	釧 崎	-3.3 ± 1.6

* 伊豆大島は1993年12月に観測点が移設されたため、旧点と新点との整合が取れていないので、移設直前までの変化率を掲載する。



第2図 各基線長の変化

Fig.2 Variation of estimated baseline lengths.